

ボイラー・圧力容器保守点検業務特記仕様書

1 業務の目的

ボイラー・圧力容器の点検整備を定期的実施することにより、ボイラー・圧力容器を常に良好な状態に維持するとともに、障害発生時には速やかに臨時点検を実施の上、復旧対応を行うことにより、病院機能への影響を最小限に抑制する。

2 業務の対象

番号	名称	検査証番号	伝熱面積 又は 内容積	設置場所	有効期間 満了日 (予定含む)
1	炉筒煙管ボイラー	603	29.2m ²	B 1 階機械室	2024/ 8/31
2	炉筒煙管ボイラー	604	29.2m ²	B 1 階機械室	2024/ 9/30
3	ストレージタンク	1557	3.978m ³	B 1 階機械室	2024/ 8/31
4	ストレージタンク	1558	3.978m ³	B 1 階機械室	2024/ 9/30
5	ストレージタンク	1559	3.978m ³	B 1 階機械室	2024/ 8/31
6	ストレージタンク	1560	6.165m ³	B 1 階機械室	2024/ 9/30
7	熱交換器	1561	0.307m ³	B 1 階機械室	2024/ 8/31
8	熱交換器	1562	0.307m ³	B 1 階機械室	2024/ 9/30
9	角形ジャケット付消毒器	1824	1.365m ³	3 階中央滅菌室	2024/11/25
10	角形ジャケット付消毒器	1828	1.365m ³	3 階中央滅菌室	2024/12/15
11	角形ジャケット付消毒器	1834	1.69m ³	3 階中央滅菌室	2025/ 3/ 2
12	角形ジャケット付消毒器	1895	1.69m ³	3 階中央滅菌室	2024/12/26

3 業務の内容

(1) 定期点検整備

定期点検は年に1回実施する。

(2) 臨時点検

業務対象機器に障害が発生した場合は、速やかに現地調査を行い、障害の復旧対応を行う。

(3) 性能検査対応

労働大臣の指定する者が行う性能検査の準備、書類作成、立会いを行う。

4 点検整備内容

(1) 炉筒煙管ボイラー

部位	項目	点検整備内容
本体	水質・気室	工具及び水圧、手作業、ブラシ水洗い
	炉筒・煙管	クリーナ使用

	煙室・煙道	清掃灰出し、爆発扉吹出口取外し清掃 バーナータイル・耐火壁を必要に応じ補修（水洗不要）
付 属 品	燃焼装置	バーナー点検掃除、Vベルト交換（レッドLB32） シャフト・注油管の清掃、送油系統ストレーナー分解掃除
	安全弁	すり合わせ
	圧力計	計量法に基づく検定受検、連絡管取外し整備
	水面測定装置	水中管ーコラム内部清掃、電極棒・ホルダー整備（絶縁抵抗測定）ブローバルブ・連絡管分解整備、必要な時は取外し分解する。 水面計ー本体取外しコック分解整備、ガラス交換
	主蒸気止め弁	すり合わせ、グランドパッキン交換
	給水装置	給水ポンプ、グランドパッキン交換 逆止弁・ストレーナー・各バルブ分解整備 缶体側バルブ取外し分解整備 逆止弁・給水内管取外し分解整備
	吹出装置	バルブ取外し分解整備、リング交換 自動ブローバルブ缶体側取外し分解整備、ブロー管取外し整備
	押込送風機	Vベルト交換、グリースカップ点検
	マクドネル	本体・フロート部取外し分解整備・清掃 缶体側バルブ・ブローバルブ分解整備、連絡管整備
	給水加減器	コラム内部清掃、電極棒・ホルダー整備（絶縁抵抗測定）ブローバルブ・連絡管分解整備、必要な時は取外し分解する。
	圧力制限器	連絡管整備
	圧力調節器	連絡管整備

(2) 炉筒煙管ボイラー

部位	項目	試験調整内容
本体	缶体	水圧試験、試運転
付 属 品	バーナー	燃焼調整
	圧力計	作動状況確認
	安全弁	吹出、吹下り圧力調整及び設定
	主蒸気弁	漏れ及び開閉操作状態確認、グランドパッキン交換（ノンアスタイプ、ダイコーD4104等）
	水中管	給水加減調整、高低水位警報確認
	マクドネル	作動状態調整・確認
	給水ポンプ	作動状態調整・確認、グランドパッキン交換（ノンアスタイプ、バルカーV#7201等）
	ブローバルブ	漏れ及び操作状態確認

	圧力制限器	作動状態確認
	圧力調整器	作動状態確認
※ フランジ用シートパッキンはノンアスタタイプ（ニチアス T1120 等）を使用すること。		

(3) ストレージタンク

部位	項目	点検整備内容
本体	水室部	工具、手作業、ブラシ水洗い
付 属 品	コイル	引出し、ブラシ水洗整備
	圧力計	連絡管取外し整備
	温度計	連絡管取外し整備
	トラップ	必要に応じ分解整備
	ストレーナ	分解整備
	各バルブ	点検整備（グラントパッキン等）
	膨張管	状態確認（タンクを含む）
※ マンホール及びコイルフランジパッキンは防食タイプ及びノンアスタタイプ（バルカー6500AC、バルカー7010 等）を使用する。		

(4) 熱交換器

部位	項目	点検整備内容
本体	気室部	工具、手作業、水洗整備、腐食防止塗装
付 属 品	コイル	引出し、ブラシ水洗整備
	圧力計	連絡管取外し整備
	温度計	連絡管取外し整備
	トラップ	必要に応じ分解整備
	ストレーナ	分解整備
	各バルブ	点検整備（グラントパッキン等）
	逃がし弁	分解整備

(5) 角形ジャケット付消毒器

部位	項目	点検整備内容
本体	気室部	内部装備品取外し整備
付 属 品	安全弁	取外し分解整備
	圧力計	連絡管取外し整備
	トラップ	必要に応じ分解整備
	ストレーナ	分解整備
	各バルブ	点検整備（グラントパッキン等）

(6) その他

項目	点検整備内容
補修	塗装仕上げ、本体外装面清掃
防護養生	本体配管・付属品床面等、すす、灰、ほこり、汚れ飛散防止計器類の破損防止のため養生
※ パッキン等は使用状況に応じたものを使用すること。	

5 特記事項

(1) 臨時点検

障害発生等緊急時に発注者から連絡を受けた場合は、迅速に対応すること。

(2) 臨時点検の範囲

臨時点検は、原則として予備品等を使用するものとし、新たに部品、材料等が必要な場合は別途協議する。

(3) ボイラー整備士の選任

受注は、ボイラー整備士免許を保有している者を選任し、甲に届け出ること。なお、選任者を変更したときも同様とする。また、点検整備に当たっては、発注者と十分に事前協議を行い、ボイラー整備士免許を保有している者が実施すること。

(4) 点検整備報告書

各機器の点検整備後、点検整備報告書及び点検整備写真を提出すること。